

無垢材の家具に関する注意

無垢材とは原木から必要な寸法に切り出したままの木材であり、天然木本来の風合いをもつ素材です。合板、繊維板などの加工材とは異なる特徴がありますので、下記内容をよくお読みいただき、末永くご使用ください。

無垢材の特徴

- ・ 無垢材は加工材に比べ調湿機能に優れているため、家具として製品になってからも設置場所の温度や湿度によって、膨張・収縮を繰り返します。それにより、製品に多少の反りや歪み、割れが発生することがあります。
本製品はこれらの変形や割れを最小限に抑えるために、材料の乾燥に十分な時間をかけておりますが、無垢材の特性上、完全に防ぐことはできません。
- ・ 木目、節、色に個体差があり、カタログや店頭展示商品と多少の違いがあります。
- ・ 木地の色を活かした無垢材の家具は、紫外線などの影響により、時間の経過とともに色味が変化し、より深い味わいが出てきます。
- ・ 本製品はホワイトオークの無垢材を使用しています。古くから家具や床材に適した素材として親しまれている木材です。天然素材のため木目模様は材によって異なり、虎斑(トラフ)と呼ばれる虎の毛並みのような木目が現れる特徴があります。

使用上の注意

- ・ 硬く重いものを落としたり、引きずったりしないようにしてください。キズの原因となります。
- ・ 汚れや水分がついた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ 湿った状態で放置しないでください。また濡れた布などを置いたままにしないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 熱い鍋などを直接置かないでください。変色などの原因となりますので、必ず鍋敷きをご使用ください。
- ・ 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 直射日光のあたる部屋へ設置する場合はカーテンなどを利用し、直接日光が当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となります。
- ・ 暖房器具を使用する場合は室内温度は適正に保つようにしてください。冬場など暖房器具による室内の極端な乾燥は無垢材の割れや反りの原因になりますので、加湿器などで湿度の調整をお勧めします。

お手入れの方法

- ・ 普段のお手入れは柔らかい布で乾拭き、または水拭き後に乾拭きをしてください。汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3~5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後よく水拭きし、最後に乾いた布で水分をしっかりと拭きとってください。
- ・ キズ補修などのメンテナンスについては工場修理となりますが、キズ度合いにより完全に修復することができない場合があります。